

科目名	幼稚園教諭論	教員名	やまだ かつみ 山田 克巳	開 講	保育科	1年次	後 期
<p>・目的と内容</p> <p>幼稚園教諭には、保護者が育ててきた大切なお子さんが集団生活を通して、基本的な生活習慣や社会的な生活習慣を身につけ、自立していくためにその援助をし、一人ひとりの発達を助長させ、「生きる力」を育むことができるような保育を展開していくことが望まれている。よって本講義は、幼稚園教諭の具体的な仕事内容を知り、それらを行うための基本的な知識や考え方を学ぶと共に、幼稚園での大きな行事ともなっている「生活発表会」あるいは「お遊戯会」の取り組み方を工夫することが、年間を見通した保育を展開することにつながることを学ぶ。</p> <p>更には、発達に遅れを感じる子どもへの関わりや父母への対応についても事例を通して学び、担任だけではなく全教職員がその子どもへの配慮及び援助をしていかなければならないことも伝えていきたい。</p>							
<p>・授業計画 [ 単位数：2単位、授業週数：15回 ]</p> <p>[ 後期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アンケート調査・オリエンテーション</li> <li>2. 幼稚園と保育園の違い</li> <li>3. 認定子ども園の仕組み</li> <li>4. 幼稚園教諭の業務</li> <li>5. 指導計画と保育内容</li> <li>6. 導入の意義とその方法</li> <li>7. ライブ感覚を持つことの重要性</li> <li>8. 手遊びの意義と実際</li> <li>9. 自由活動のあり方</li> <li>10. 発達に遅れのある子ども</li> <li>11. 知能検査と発達検査</li> <li>12. 発表会の重要性</li> <li>13. 発表会の取り組み方</li> <li>14. テスト</li> <li>15. まとめ</li> </ol>							
<p>・講義の進め方</p> <p>講義形式のみならず演習形式でも行う。DVDなどを参考に幼稚園教諭のイメージが湧く方法を用いる。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>テスト・小テスト及び出席状況・提出物などから総合的に評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>各自が、自分の目指す教師像を明確にすることができれば、後はそれに向かった具体的な方策を実践していくだけである。一人ひとりが受講する中でその足がかりを見つけ出すことが本講義の大きなねらいであることを念頭に置き、積極的な姿勢で臨んでもらいたい。なお、出席率は評価に大きく作用するので体調管理に気を付けてもらいたい。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：『ADHD 及びその周辺の子どもたち』・『学習障害（LD）及びその周辺の子どもたち』・『幼稚園教育要領』 参考書：各種資料を適時配布</p>							